

「エコデザイン思想から社会の持続的発展に向けた展開 (#1)」

社会を持続的に発展に向けて、多くの提案が成されています。今回は、(1) 大学教育の場に於けるツールの活用を通じた個人レベルの意識改革と(2) 経済指標である GDP を新しい指標に変える事による大きな枠組みの改革についてお二人の講師からお話しして貰います。この他、経済的な発展と、持続的社会的枠組みを作ることには多くの課題が残されています。お二人のお話をお聞きした後で、参加者全員での質疑応答と交流会を設けます。多くの方の参加を期待致します。

1. 日時：11月18日(木) 15時30分～ (受付開始 15時15分より)
2. 場所：東京大学 農学部弥生講堂/セイホクギャラリー (農学部正門入って直ぐ左)  
[http://www.a.u-tokyo.ac.jp/yayoi/plan\\_annex.html](http://www.a.u-tokyo.ac.jp/yayoi/plan_annex.html)
3. 講演：15:30～18:00 (含む講師紹介、質疑)
  - (1) 15:40～16:30「製品開発に於ける環境改善ガイドブック」  
日本語版に基づく概要紹介とその実践方法  
首都大学東京大学院システムデザイン研究科  
システムデザイン専攻 下村 芳樹教授

[概要]

各国企業において、環境や自然に対する人為的影響を軽減するためのアクティビティが急速に活発化しています。しかし一般に企業は、自身の活動に伴う環境負荷の低減に努めると共に、顧客や消費者にとっての価値を創造し、最大化することに常に目を向けなければなりません。つまり、持続可能な開発や価値創造の概念を製品やサービスの設計の初期段階に取り入れ、新しいビジネスチャンスを生み出し続けることが求められているのです。

本書「製品開発における環境改善ガイドブック」は、Technical University of Denmark (DTU・デンマーク工科大学)のTim McAloone教授らのグループにより、製品・サービスの設計・開発プロセスに、環境への配慮を積極的に取り入れるきっかけを作り、それを実現するための段階的アプローチを提供することを目的として構成されました。この度、McAloone教授のご厚意により、新たに本書の日本語版を作成し、国内において本書が提案する製品開発における環境改善の進め方を広くご紹介する機会を得るに至りました。今回の講演では、本日本語版ガイドブックの概要を紹介させて頂きながら、製品開発における環境改善の実践方法を提案致します。

[御略歴]

首都大学東京大学院システムデザイン研究科システムデザイン専攻教授。  
工学博士。1961年山口県生まれ。複写機メーカー、重工業企業を経て、  
2001年東京大学・人工物工学研究センター・サービス工学研究部門助教授、  
05年より現職。サービス工学、ライフサイクル工学、設計工学等の研究に従事。  
科学技術庁注目発明、Innovative Application of Artificial Intelligence (AAAI)  
など受賞。

(2) 16:30～17:20 「サステナブル社会の構築に向けて、GDPの欠陥と  
それを凌駕する諸指標を考える」

麗澤大学 経済学部 大橋 照枝教授

[概要]

GDPは、それを開発した経済学者サイモン・クズネッツが自ら指摘したように、  
市場を経由した金額を加算していくだけの経済指標で、福祉の指標ではない。  
戦争でも環境破壊でも交通事故でも金銭の支出が伴うと GDPを大きくする。  
一方で我々の福利厚生にとって不可欠な家庭内の家事・育児・介護は、賃金が支  
払われないので、GDPには加算されない。  
そのため、70年代以来、GDPを補完する様々な指標が開発されてきた。  
MEW、NNW、ISEW/GPI、SEEA、ブータンのGNH、HDI、  
HPI、大橋が開発中のHSM（人間満足度尺度）など。  
それぞれの特徴と限界を検討し、望ましい指標のあり方を考える。

[御略歴]

京都大学文学部哲学科社会学専攻卒。  
株式会社 大広マーケティング・ディレクター、国学院大学栃木短期大学  
助教授を経て、現在麗澤大学経済学部教授。  
主要著書—『幸福立国ブータン』（白水社 2010）  
『「満足社会」をデザインする第3のモノサシ』（ダイヤモンド社 2005）  
『ヨーロッパ環境都市のヒューマンウェア』（学芸出版社 2007）  
『環境マーケティング大全』（麗澤大学出版会 2002）  
『未婚化の社会学』（NHK出版 1993）

(3) 17:20～17:50 「総合質疑」

4. 交流会：18:00～19:30

## 5. 参加費 無料

講演会終了後 NPO エコデザイン推進機構会員と講師による交流会

(を行います交流会参加費：実費 (3,000 円程度)

また、特別入会を受け付けます (年会費 5 千円、入会金無し)

---

---

参加申し込み：

下記を記入の上、[secretariat@ecodenet.com](mailto:secretariat@ecodenet.com) まで、E-Mail で。

ご氏名：

ご所属：

会員、非会員 (当日入会希望の有、無)

交流会参加希望 (有、無)